

切替マス (縦型)

ESC-T VP 100×150P-300
ESC-T VP 150×150P-300

- 施工前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 施工後は必ずこの取扱説明書を管理者様にお渡し願います。

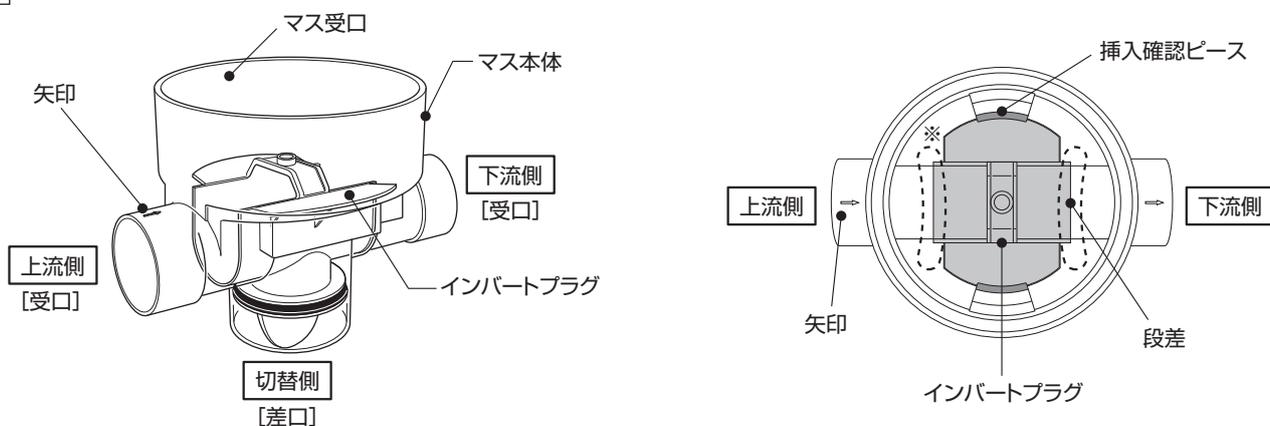
施工

施工者様向け

配管

本製品には製品構造上、上下流があります。製品管路受口の矢印を流れ方向に合わせて設置してください (図-1)。VU管・VP管どちらにおいても、変換継手を使用せず配管可能です。
マスの天端で水平をとることで、規定の勾配 (100×150P-300: 2/100、150×150P-300: 1.5/100) となります。

図-1



※マス内のインバートとの段差が生じないように確実に挿入してください。

設置深さ

切替作業性を考慮し、設置深さは2.0mまでとしてください (図-2)。手が届かない範囲は「切替マス」用プラグフックが必要となります。1.0mまでは付属の延長取手を用いることで「切替マス」用プラグフックは不要となります (図-3)。

図-2

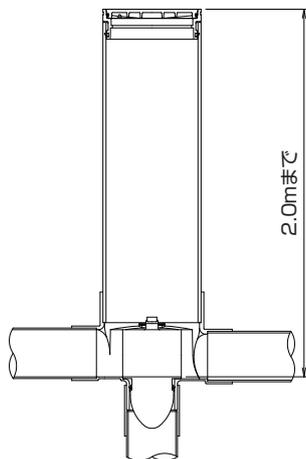
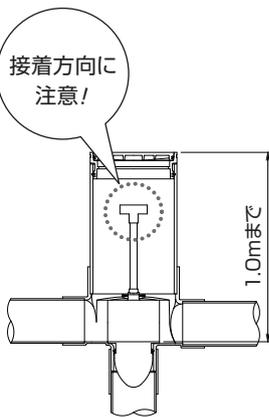
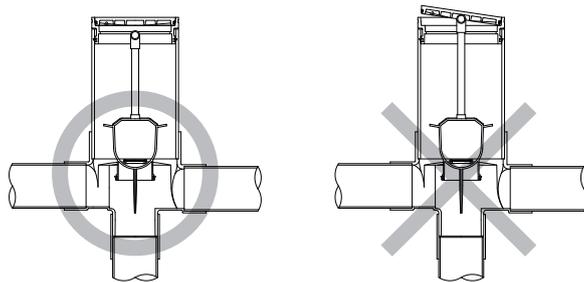


図-3

延長取手は、切替時にふたと干渉しない長さに管体部を切断し、ご使用ください。この際、切替作業が可能であることをご確認ください。



取手とふたが干渉しないこと



非常時

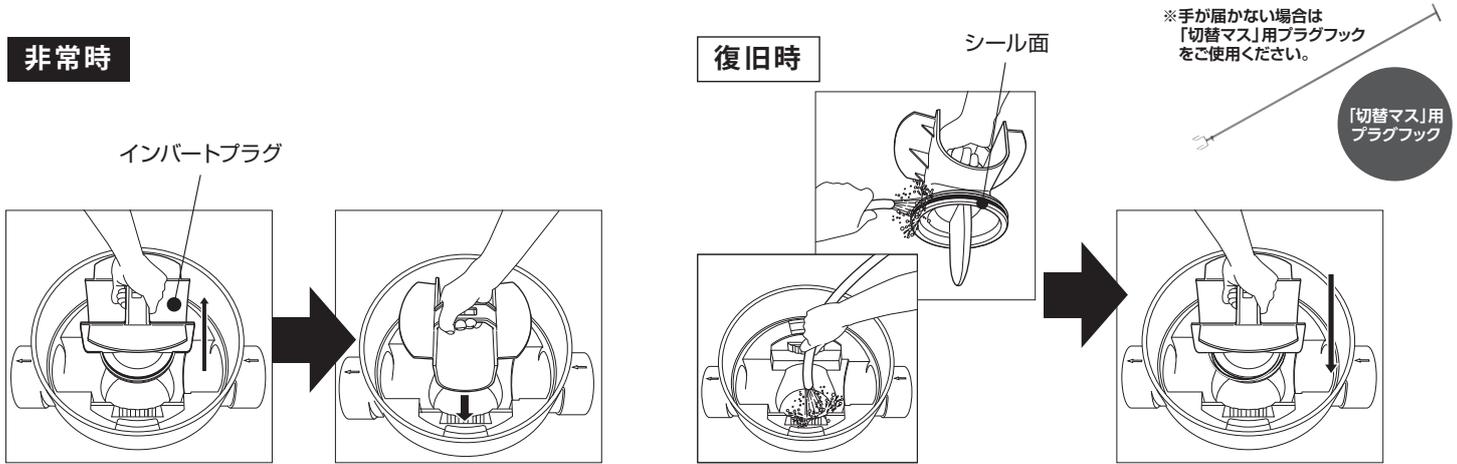
本管が破損する等の非常時に排水が行えなくなった場合は、マス内の「インバートプラグ」を引き抜き90°回転させてマス内の所定に置いてください。

復旧時

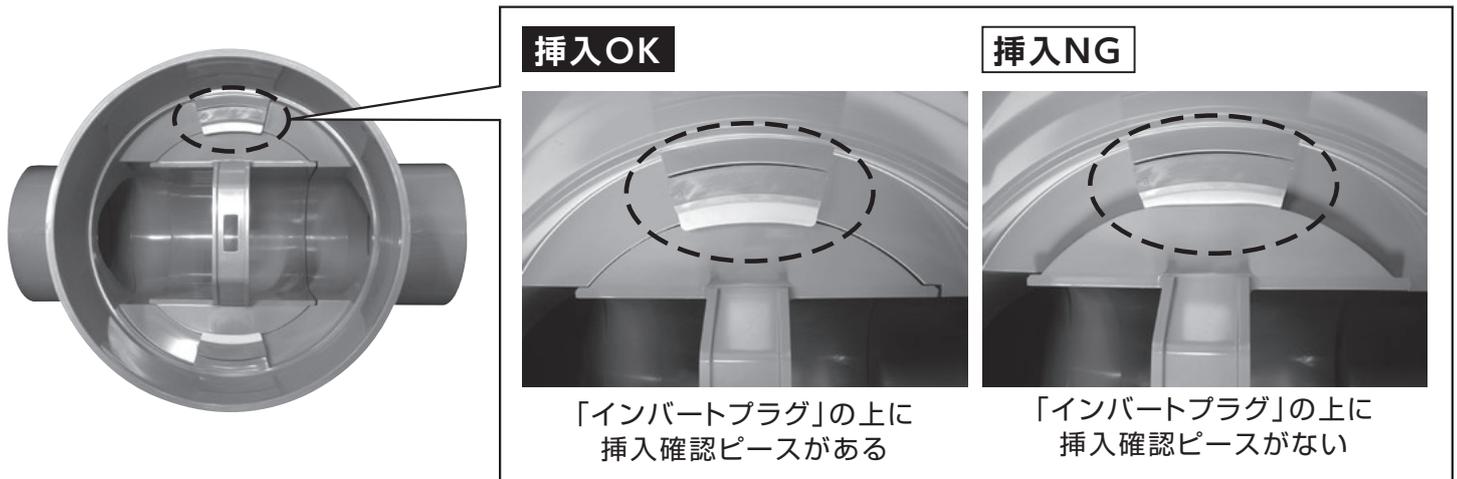
本管が復旧後、本体と「インバートプラグ」のシール面を丁寧に清掃してから、「インバートプラグ」を挿入確認ピースが出るまで差し込み、もとに戻してください。

非常時

復旧時



「インバートプラグ」の挿入確認方法



注意事項

◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、放り投げなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- ・屋内で保管してください。やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光を避け、熱気のももらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- ・矢印がある受口を上流側にして設置してください。
- ・接着剤は、必ず清掃した管と受口の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。
- ・接合は規定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤をふき取ってください。
- ・アセトン、シンナー、クレオソート、殺虫剤、白あり駆除剤など材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗ったりしないでください。

◆使用上のご注意

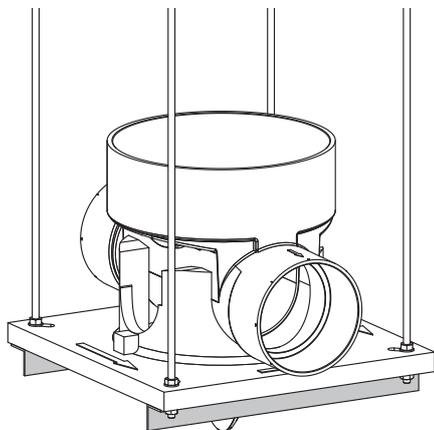
- ・非常時に取り外した「インバートプラグ」は、マス内の所定位置に設置してください。
- ・本管が復旧後、「インバートプラグ」を差し込む際は、本体とプラグのシール面をていねいに清掃してから挿入確認ピースが出るまで差し込んでください。
- ・管内をジェット洗浄する際は、「インバートプラグ」に負荷がかからないように配慮してください。
- ・維持管理道具を挿入する際は、「インバートプラグ」への接触にご注意ください。

切替マス (縦型)

ESC-T(架台セット) VP 100×150P-300
 ESC-T(架台セット) VP 150×150P-300

●施工前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

- ・本製品は吊り配管用の架台となります。埋設配管には使用しないでください。
- ・専用架台施工時には、補強のため別途、L字アングル(別売)をご用意いただき、図-1を参考に製品下端に取り付けてください。また、吊り間隔が架台よりも大きくなる場合には、図-2を参考にL字アングルの長さを調整して、支持してください。(最大吊り間隔:700mm)なお、アングル取り付け時の耐荷重は3000Nとなります。それ以上の荷重が加わる箇所には使用しないでください。
- ・専用架台には、方向があります。架台の刻印にて上下流をご確認ください。据え付け後は、マス天端が水平であることをご確認ください。



L字アングルは、管軸と直交する向きにて取り付けてください

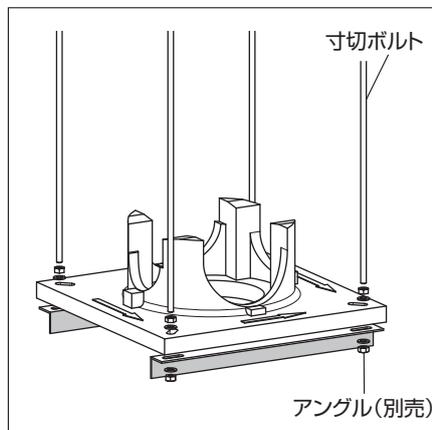


図-1 L字アングルによる補強

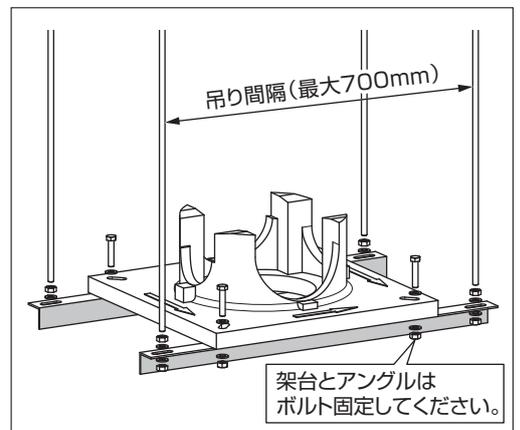
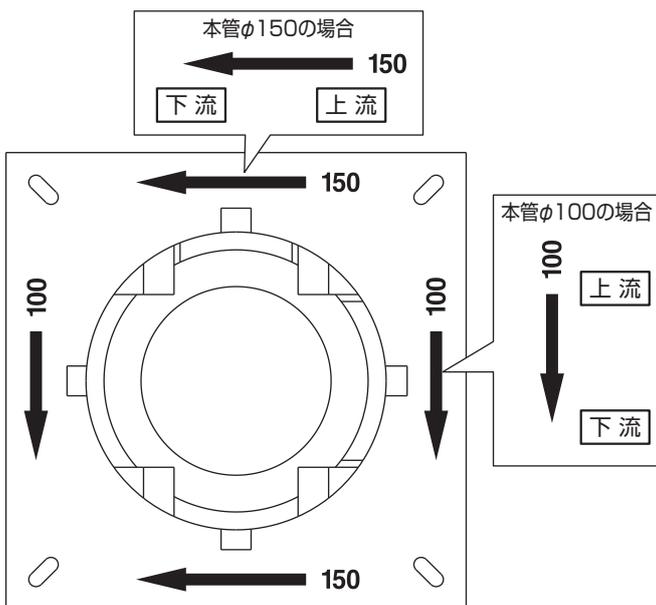


図-2 吊り間隔を延長する場合



推奨サイズ

アングル：3×40×40以上*
 寸切ボルト：M10～M14(製品孔幅14.5)
 ワッシャー：外径21以上

*上記サイズ以下のアングルを使用した場合、耐荷重が満足しなくなるおそれがあります。

